

特別講演 「聞こえなくても大丈夫！

～明晴学園が目指す社会とは～」

お待たせしました。令和6年度社会教養講座の1回目は、下記の通り開催します。

主催：さいたま市教育委員会（予定）・さいたま市聴覚障害者協会

協力：さいたま市手話通訳問題研究会

★日 時：令和6年5月11日（土）午後2時から4時まで

※開講式午後1時40分から（受付開始：午後1時30分から）

★場 所：浦和コミュニティセンター・9階（第15集会室）

明晴学園校長 ★講 師： <sup>かや</sup> 榎 <sup>ようこ</sup> 陽子氏

プロフィール



東京都荒川区出身、現在は千葉県松戸市で夫と娘の3人暮らし。

2歳半のときに聞こえないことが分かり、幼稚部、中学部、高等部はろう学校、小学校のみ一般学校で学ぶ。

筑波大学・大学院で数学やろう教育を学んだことがきっかけで、乳児から手話で学ぶ場の必要性を感じるようになる。

1999年に仲間とともにフリースクール龍の子学園を立ち上げ、9年後の2008年、日本初の日本手話と書記日本語のバイリンガルろう教育を行うろう学校、明晴学園が開校。

現在、校長になって12年目。

★参加費：無料・定員（80名）

※手話通訳・要約筆記（OHC）が付きます。

※市内のろう者を優先します。定員に達しない場合は、市内の手話学習者も受け入れます。

★問い合わせ：さいたま市聴覚障害者協会事務局

FAX 048-653-7324

社会教養講座担当 横島 義博